

統計データから

大豆における世界の生産・輸出・輸入量（2023年）

世界の大豆の事情をみると、近年、生産量、消費量ともに増加傾向で推移しており、生産はブラジルとアメリカが、消費は中国が最大となっている。表-1に世界の大豆の生産・輸出・輸入量（「FAOSTAT」による；2023年）を示した。

世界の大豆生産量は年間約3.7億tで、そのうちトップ3のブラジル（41%）、アメリカ（30.5%）、アルゼンチン（6.7%）の南北アメリカ3国で世界の生産量の約8割を占めている。続いて、中国（5.3%）、インド（4.0%）となっている。日本の生産量は252千tで世界では24位である。

因みに、大豆の平均単収は日本が164kg/10aに対して。世界平均は287kg/10a。2大生産国のブラジルは357kg/10a、アメリカが341kg/10aと高単収で、日本とは大きな差がある。

世界の大豆輸出量は約1.7億tで、2大生産国のブラジルが

58.7%、アメリカが28.1%と、この2国で約9割近くを占める。

世界の大豆消費のうち、約9割の3.5億tは搾油用等の生産に、約1割が食用や飼料用などに充てられている。輸入については、中国の輸入量が中長期的に増加しており、特に大豆油や飼料用として、世界の総輸入量の6割以上を占めている。

日本では、その消費量の3割が豆腐や納豆、みそ、しょうゆなどの食用大豆で、輸入量は3,156千tで世界第8位である。輸入先は米国産が約7割を占め、以下、ブラジル、カナダ、中国となっている。

なお、今では大豆の一大生産国になったアメリカではあるが、19世紀、「黒船」で日本を訪れた東インド艦隊司令長官のマシュー・ペリーが、日本の大豆を母国のアメリカに持ち帰ったのがルーツと言われている。 (K.O)

表-1 大豆をめぐる世界の生産・輸出・輸入量

国名	生産量(千t)	割合(%)	国名	輸出量(千t)	割合(%)	国名	輸入量(千t)	割合(%)
ブラジル	152,144	41.0	ブラジル	101,870	58.7	中国	103,384	61.0
アメリカ	113,343	30.5	アメリカ	48,719	28.1	アルゼンチン	10,368	6.1
アルゼンチン	25,045	6.7	パラグアイ	6,495	3.7	メキシコ	4,020	2.4
中国	19,491	5.3	カナダ	4,469	2.6	オランダ	3,571	2.1
インド	14,985	4.0	ウクライナ	3,490	2.0	スペイン	3,327	2.0
パラグアイ	10,197	2.7	アルゼンチン	1,854	1.1	タイ	3,285	1.9
カナダ	6,981	1.9	ロシア	1,379	0.8	ドイツ	3,193	1.9
ロシア	6,600	1.8	オランダ	794	0.5	日本	3,156	1.9
ウクライナ	4,743	1.3	ウルグアイ	775	0.4	エジプト	2,921	1.7
ボリビア	3,670	1.0	南アフリカ	689	0.4	トルコ	2,902	1.7
世界計	371,174	100.0	世界計	173,456	100.0	世界計	16,478	100.0